

# 民 法

(問 題)

2023 年度

## 注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2～3頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名、問題番号を記入してください。受験番号は正確に3箇所に入力してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題1 (90点)

Aは、2022年5月12日、Bとの間で、甲土地を代金1,500万円でBに売却する旨の契約（以下「本件契約」という。）を結んだ。本件契約では、同年7月12日に、代金の支払い並びに甲土地の移転登記及び引渡しを行うことが合意された。ところが、本件契約後、甲土地をより高い値段で購入したいというCが現れたことから、Aは、同年6月10日、Cとの間で、甲土地を代金1,600万円でCに売却する旨の契約を結び、同月20日、CがAに代金1,600万円を支払うとともに、AからCへの甲土地の移転登記と引渡しが行われた。

以上を前提として、次の〔設問1〕および〔設問2〕に解答しなさい。なお、〔設問1〕と〔設問2〕は相互に独立した問いである。

〔設問1〕(50点)

甲土地の価格は、本件契約の前から上昇し続けており、本件契約の時点では1,500万円であったが、2022年6月10日には1,600万円となり、現在（同年7月15日）では1,700万円まで上昇している。この場合において、Bは、Aに対し、甲土地を得られなかったことによる損害の賠償を請求することができるか。また、請求することができるのであれば、いくら賠償を請求することができるか。

〔設問2〕(40点)

Cは、2022年7月1日、Dとの間で、甲土地を代金1,650万円でDに売却する旨の契約を結び、同月11日、DがCに代金1,650万円を支払うとともに、CからDへの甲土地の移転登記と引渡しが行われた。Cは、本件契約の存在を全く知らなかったが、Dは、本件契約の存在およびBが甲土地を購入できないと苦境に陥ることを知っており、甲土地をBに高値で売りつけることを目的としてCから甲土地を購入していた。この場合において、甲土地をめぐるBD間の法律関係はどうか。

問題2 (90点)

銀行Aは、大学卒業をまぢかに控えたB(22歳)から、Bが始めようとする事業のための資金の融資を依頼された。Aが融資に難色を示したことから、Bが、Bの母であるCに相談したところ、Cは、Aを訪ね、Cが保証をするから、ぜひ融資をして欲しい旨を申し出た。そこで、Aは、保証人となろうとするCが保証債務を履行する意思を表示する公正証書を適式に作成する手順を経た事実を確かめたうえで、Bへの700万円の融資をすると共に、Cとの間でBへの融資に係る保証契約を書面にて締結した。

Dは、Bの父であり、Cとは婚姻の届出をしていないものの、同居し、事実上夫婦と同様の関係にある。

〔設問1〕(70点)

AのBに対する融資の返済期限が経過したにもかかわらず、Bが返済をしない場合において、Aは、BおよびCに対し、どのような根拠に基づき、どのような内容(融資額700万円以外の金員も含む。)の請求をすることができるか。また、AのCに対する請求に対して、Cは、Aに対し、どのような主張をすることができるか。

〔設問2〕(20点)

AのBに対する融資の返済期限が経過したにもかかわらずBが返済をしないままCが死亡した場合において、Aは、Dに対し、〔設問1〕の請求をすることができるか。

〔以下余白〕